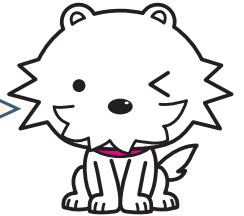


# 創作ことわざ 作成のポイント



ことわざを上手に作りたい！やるからには入賞したい！  
入賞をめざすあなたに、こと犬から3つのアドバイス

- ①「たとえの意味」を考えよう
- ② 会話にあてはめてみよう
- ③「意味と説明」をしっかり書こう



## ①「たとえの意味」を考えよう

たとえば

「灯台下暗し」

読んだ通りの意味：灯台は遠くを照らすけれど、すぐ下は暗い。  
たとえの意味：身近なことなのに、わかりにくいというたとえ。

このようにことわざには、読んだ通りの意味だけではなく、教訓や生活の知恵などの『たとえの意味』があるのが一般的です。

読んだ通りの意味だけでなく、どんな状況で使えるのか『たとえの意味』を意識して作ってみましょう。

## ② 会話にあてはめてみよう

たとえば

「灯台下暗し」

スマホがないって言ってあちこち探しているけど、灯台下暗しだよ。今まで座っていた席に置いてあるじゃないか。

ことわざは、このように会話や文章の中で使えるようにできているものです。

思いついたことわざを使って会話したり、文章を作ったりできるか考えてみましょう。

## ③「意味と説明」をしっかり書こう

①②のように、創作ことわざは、意味が肝心です。

「意味と説明」のらんでは、あなたがことわざにこめた意味や思いを、しっかりと説明しましょう。

大昔に作られたことわざが、今も「面白い！」「なるほど！」と思えるのは、納得できる意味を持ち、由来が説明がされているからこそ、とも言えるでしょう。

3つのポイントを参考に、あなたも創作ことわざに、レッツ・トライ！